

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ケミクリートERSトップコート 基剤(各色)
会社名 株式会社エービーシー商会
住所 〒100-0014
東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門 化成品事業部
電話番号 03-3507-7176
FAX番号 03-3507-7178
緊急連絡先 03-3507-7176(直通)
作成日 2002年 10月 1日
改訂日 2023年 6月 30日
整理番号 AS-06313
推奨用途及び使用上の制限 (推奨用途) 塗料又はコーティング材
(使用上の制限) 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

- ・引火性液体 区分3

健康に対する有害性

- ・皮膚腐食性／刺激性 区分2
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A
- ・皮膚感作性 区分1
- ・生殖細胞変異原性 区分2
- ・発がん性 区分1A
- ・特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2
- ・特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2

環境に対する有害性

- ・水生環境有害性 短期(急性) 区分1
- ・水生環境有害性 長期(慢性) 区分1

GHSラベル要素

絵表記



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・引火性液体及び蒸気
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれ
- ・呼吸器系、腎臓、免疫系の障害のおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓、免疫系の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

国、地域情報

- ・化審法 優先評価化学物質を含有する。
- ・安衛法 変異原性物質(ヒスフェノールA型イソキシ樹脂中間体)を含有する。
- ・安衛法 第2種有機溶剤を含有する。
- ・消防法 危険物第2類引火性固体「火気厳禁」危険等級Ⅲ

注意書き

安全対策

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけることー禁煙。
- ・着火源となる恐れのある機械等の使用を避けること。
- ・個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。
- ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。
- ・ミスト／蒸気を吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

保管

- ・日光から遮断して容器を密閉し換気の良い場所で施錠して保管すること。
- ・漏出したときは、漏出物を回収すること。

廃棄

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

応急措置

- ・火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸をしやすい姿勢で休息させ、医師の診断／手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合、無理して吐かせず、口をすすぎ、医師の診断／手当てを受けること。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。眼の痛みが続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・皮膚(又は毛髪)に付着した場合、直ちに、すべての汚染された衣類を取り除き、多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・皮膚刺激があるときは、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ばく露又はその懸念がある場合や、気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化 学 名	含有量 (%)	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
ヒスフェノールA型液状エポキシ樹脂	35 ～ 45	(7)-1283	—	25068-38-6
ベンジルアルコール	1 ～ 5	(3)-1011	—	100-51-6
n-ブタノール	1 ～ 10	(2)-3049	2-(8)-299	71-36-3
鉱油	0.1 ～ 0.5	非公開	—	非公開
硫酸バリウム	10 ～ 20	(1)-89	—	7727-43-7
結晶質シリカ	5 ～ 15	(1)-548	—	14808-60-7
酸化鉄	0 ～ 2	(1)-357	—	1309-37-1
銅フタロシアニン系顔料	0 ～ 1	(5)-3315	—	1328-53-6
酸化チタン(IV)	0 ～ 2	(5)-5225	—	13463-67-7

4. 応急措置

眼に入った場合	： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	： 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合	： 新鮮な空気のある場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時には医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 泡、乾燥砂、粉末。
火災時の特有の危険有害性	： 火災の際や加熱された場合、容器が破裂するおそれがある。
特有の消火方法	： 漏洩した場合、着火源を除去すること。速やかに容器を安全な場所に移す。 移動可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。 指定の消火剤を使用すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	： 作業の際には適切な保護具を着用すること。 消火活動は風上から行うこと。 安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	： 風下の人を退避させる。漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。屋内の場合には処理が終わるまで十分に換気を行う。
環境に対する注意事項	： 環境への放出を避けること。 排水系、下水または水路への漏出を防止すること。
封じ込め及び 浄化方法及び機材	： 漏出物を砂、バーミキュライト等の不活性な吸収剤に吸収し、適した容器に回収すること。散水してはならない。 可能な限り液体を回収すること。散水し飛散させてはならない。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意事項	<p>：適切な保護具を使用すること。</p> <p>眼、皮膚及び衣類にふれないようにする。</p> <p>蒸気や噴霧の吸入を避ける。</p> <p>環境への放出を避けること。</p>
衛生対策	<p>：本物質の取り扱い、保管、作業を行う場所での飲食及び喫煙は厳禁。</p> <p>作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。</p>
技術的対策	<p>：適切な保護具を使用すること。</p>
保管	
安全な保管条件	<p>：容器は直射日光を避け、通風の良い、冷暗所に保管する。</p>
安全な容器包装材料	<p>：腐食しやすい容器を避ける。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度	成 分	管理濃度	許容濃度	
		作業環境評価基準	日本産業衛生学会	A C G I H
	ビニルアルコール型液状エポキシ樹脂	設定されていない	設定されていない	—
	ベンゾアルコール	設定されていない	25mg/m ³	—
	n-ブタノール	25ppm	50ppm	20ppm
	鉱油	設定されていない	3mg/m ³	—
※	硫酸バリウム	未設定	未設定	5mg/m ³
※	結晶質シリカ	設定されていない	0.03mg/m ³	0.025mg/m ³
※	酸化鉄	設定されていない	第2種粉塵 1mg/m ³	3mg/m ³
※	銅フタロシアニン系顔料	設定されていない	第3種粉塵 1mg/m ³	3mg/m ³
※	酸化チタン(IV)	設定されていない	第2種粉塵 1mg/m ³	3mg/m ³

- 設備対策 : ※. 特定粉塵作業に該当しないため対象外。
 : 必要に応じ、送風機などを用いて換気する。
 : 炎、火花、高温体との接触及びその他着火源となる恐れのある機器等の使用を避けること。
- 保護具 : 下記に示す保護具の着用を推奨する。
 ・呼吸用保護具 : 有機溶剤用防毒マスク
 ・保護眼鏡 : ゴーグル型保護眼鏡
 ・保護手袋 : 耐油性ゴム手袋、ビニール手袋、軍手
 ・保護衣 : 長袖、長ズボンの作業着

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 : ペースト状(各色) 爆発範囲 : 情報なし
臭気 : 特異臭(溶剤) 蒸気圧 : 情報なし
pH : 情報なし 蒸気密度 : 情報なし
融点／凝固点 : 情報なし 蒸発速度 : 情報なし
沸点 : 情報なし 比重 : 1.4 ～ 1.5 (25℃)
引火点 : 29℃ 溶解性 : 水と不溶。アセトンなどの有機溶剤に可溶。
発火点 : 情報なし ｋｋ／水分配係数 : 情報なし
燃焼性 : 情報なし 分解温度 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 情報なし。
化学的安定性 : 通常の取扱では安定である。
危険有害反応可能性 : アミン類と反応し発熱する。
避けるべき条件 : 高温での保管は避ける。
混触危険物質 : 酸化性物質、アミン類
危険有害な分解生成物 : 燃焼により一酸化炭素、窒素酸化物、その他低分子モノなどの有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報（人についての症例・免疫的情報を含む）

別紙「有害性情報一覧」参照

12. 環境影響情報

製品として

- 生態毒性 : 情報なし 土壤中の移動性 : 情報なし
残留性/分解性 : 情報なし 他の有害影響 : 情報なし
生体蓄積性 : 情報なし

成分の水生環境有害性情報

	水生環境有害性 短期（急性）	水生環境有害性 長期（慢性）	オゾン層への有害性
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分1	区分1	情報なし
ベンジルアルコール	区分2	区分に該当しない	分類できない
n-ブタノール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
鉱油	情報なし	情報なし	情報なし
結晶質シリカ	分類できない	分類できない	分類できない
硫酸バリウム	区分3	区分3	分類できない
酸化鉄	分類できない	分類できない	分類できない
銅フタロシアニン系顔料	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
酸化チタン	区分に該当しない	区分4	分類できない

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

輸送時は直射日光が当たらないようにし、容器からの漏れがないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

- 国連分類 : クラス 3 国連番号 : 1 2 6 3
容器等級 : III 国連輸送名 : 塗料又は塗料関連物質
海洋汚染物質 : 環境有害物質に該当する
陸上輸送
・消防火
 容器 : 危険物の規制に関する規則 別表第3の2および第3の4
 金属製ドラム(250ℓ)、プラスチックドラム(250ℓ)、金属製容器(60ℓ) など
 容器表示 : 危険物第2類引火性固体(指定数量 1,000kg) 危険等級III
 品名、化学物質名、数量、火気厳禁
 積載方法 : 運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。
 混載禁止 : 第1類、第3類および第6類の危険物、高圧ガスの混載禁止。
・毒劇物取締法 : 該当しない
・高圧ガス保安法 : 該当しない

海上輸送 ・船舶安全法	: 引火性液体類 容器等級Ⅲ 容器は(財)日本船舶用品検定協会の検査を受けたUNマーク表示容器を使用すること。
航空輸送 ・航空法	: 引火性液体 容器等級Ⅲ 容器は(財)日本船舶用品検定協会の検査を受けたUNマーク表示容器を使用すること。
緊急時応急措置指針番号	: 1 2 8

15. 適用法令

化審法	: ・ 法第2条(特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質) 優先評価化学物質 成分名 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 (4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。))
労働安全衛生法	: ・ 施行令 別表第3、特定化学物質障害予防規則第2条 該当しない ・ 施行令 別表第6の2、有機溶剤中毒予防規則第1条の1 第2種有機溶剤 ・ 施行令 別表第1(危険物) 引火性の物 ・ 法第57条、施行令第18条 別表第9(名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物) 成分名 ベンジルアルコール n-ブタノール 鉱油 結晶質シリカ 酸化鉄 銅フタロシアニン系顔料 (銅及びその化合物) 酸化チタン(Ⅳ) ・ 法第65条の1、施行令第21条(昭和63年 9月 1日 労働省告示第75号 作業環境評価基準別表) 成分名 容器を密閉しておくこと。 ・ 労働基準局長通達(平成5年5月17日 基発第3122号の3 変異原性が認められた化学物質) 成分名 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体) ・ 法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質を定める告示(化学物質による健康障害防止指針) 該当しない ・ 労働安全衛生規則第577条の2第3項 がん原性物質 結晶質シリカ
大気汚染防止法	: ・ 法第2条の1の3、施行令第1条(有害物質) 該当しない ・ 法第17条の1、施行令第10条(特定物質) 該当しない ・ 法第2条の13(中央環境審議会第9次答申、有害大気汚染物質) 該当しない
水質汚濁防止法	: ・ 法第2条の2の1、施行令第2条 該当しない
悪臭防止法	: ・ 法第2条の1、施行令第1条(特定悪臭物質) 該当しない
消防法	: ・ 法第2条の7 別表第1(危険物) 危険物第2類引火性固体(指定数量 1,000kg) 危険等級Ⅲ
毒劇物取締法	: ・ 法第2条 別表第1～3、施行規則第4条の2 別表第1 該当しない
海洋汚染防止法	: ・ 危規則告示別表第1備考1(4)、備考2(8)(環境有害物質) 環境有害物質に該当する
船舶安全法	: ・ 危規則告示別表第1 引火性液体類 容器等級Ⅲ
航空法	: ・ 法第86条、施行規則第194条 引火性液体 容器等級Ⅲ
PRTTR法	: ・ 法第2条の2、施行令第1条 別表第1(第1種指定化学物質) 該当しない ・ 法第2条の3、施行令第2条 別表第2(第2種指定化学物質) 該当しない

16. その他の情報

主な引用文献	: ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針(社)日本化学工業協会編(2019年 6月) ・ 各原材料製造会社発行の「安全データシート」
記載事項の問い合わせ先	: 株式会社エービーシー商会 化成品事業部 TEL 03-3507-7176
本製品の安全データシートは、当社の製品を安全に使用して頂くための注意事項を簡潔にまとめたものです。	
本製品の安全データシートのデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。	
本製品の適正な使用については、使用者の責任において行って下さい。	

有害性情報一覧

有害性項目		製品	主要成分									
			ビスフェノールA型 液状エポキシ樹脂	ベンジルアルコール	n-ブタノール	鉱油	硫酸バリウム	結晶質シリカ	酸化鉄	銅フタロシアニン系顔料	酸化チタン(IV)	
急性毒性	経口 (LD ₅₀)	区分に該当しない	区分に該当しない 11,400mg/kg	区分4 1,600mg/kg	区分に該当しない 2,510mg/kg	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	区分に該当しない 20,000mg/kg	
	経皮 (LD ₅₀)	分類できない	分類できない 情報なし	区分4 2,000mg/kg	区分に該当しない 3,400mg/kg	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	区分に該当しない 10,000mg/kg	
	吸入：蒸気 (LC ₅₀)	分類できない	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	区分に該当しない 情報なし	
	吸入：ミスト (LC ₅₀)	分類できない	分類できない 情報なし	区分に該当しない 8.1mg/L	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	区分に該当しない 5.09 mg/L	
皮膚腐食性/刺激性		区分2	区分2	区分に該当しない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない	区分2	分類できない	区分に該当しない	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分2A	区分2B	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	分類できない	区分1	分類できない	分類できない	
呼吸器感作性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
皮膚感作性		区分1	区分1	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分に該当しない	
生殖細胞変異原性		区分2	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない	
発がん性		区分1A	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない	区分1A	区分に該当しない	分類できない	区分2	
生殖毒性		区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
特定標的臓器毒性	単回ばく露	区分2	分類できない	区分1,3	区分3	分類できない	分類できない	区分1	区分3	分類できない	分類できない	
	反復ばく露	区分2	分類できない	区分1	区分1	分類できない	分類できない	区分1A	区分1	分類できない	区分1	
誤えん有害性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ケミクリートERSトップコート 硬化剤
会社名	株式会社 エービーシー商会
住所	〒100-0014 東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門	化成品事業部
電話番号	03-3507-7176
FAX番号	03-3507-7178
緊急連絡先	03-3507-7176(直通)
作成	2002年 12月 1日
改訂	2021年 1月 1日
整理番号	AS-00234

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

・ 爆発物	分類対象外
・ 可燃性ガス	分類対象外
・ エアゾール	分類対象外
・ 酸化性ガス	分類対象外
・ 高圧ガス	分類対象外
・ 引火性液体	区分外
・ 可燃性固体	分類対象外
・ 自己反応性化学品	分類対象外
・ 自然発火性液体	区分外
・ 自然発火性固体	分類対象外
・ 自己発熱性化学品	分類対象外
・ 水反応可燃性化学品	分類対象外
・ 酸化性液体	分類できない
・ 酸化性固体	分類対象外
・ 有機過酸化物	分類対象外
・ 金属腐食性物質	分類できない

環境に対する有害性

・ 水生環境有害性 短期（急性）	区分2
・ 水生環境有害性 長期（慢性）	区分2
・ ウェブ層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表記



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 皮膚に接触すると有害
- ・ 吸入すると有害
- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
- ・ 重篤な眼の損傷
- ・ アレルゲン性皮膚反応を起こすおそれ

成分情報

- ・ 変性脂肪族アミン

国、地域情報

- ・ 消防法 危険物第4類第3石油類（非水溶性）「火気厳禁」危険等級Ⅲ

注意書き

安全対策

- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること一禁煙。
- ・ 着火源となる恐れのある機械等の使用を避けること。
- ・ 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。
- ・ 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・ 換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。
- ・ ミスト／蒸気を吸入しないこと。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

保管

- ・ 日光から遮断して容器を密閉し換気の良い場所で施錠して保管すること。

廃棄

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

健康に対する有害性

・ 急性毒性（経口）	区分4
・ 急性毒性（皮膚／経皮）	区分4
・ 急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
・ 急性毒性（吸入：蒸気）	区分4
・ 急性毒性（吸入：粉塵／ミスト）	区分4
・ 皮膚腐食性／刺激性	区分1
・ 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
・ 呼吸器感作性	分類できない
・ 皮膚感作性	区分1
・ 生殖細胞変異原性	区分1
・ 発がん性	分類できない
・ 生殖毒性	区分1
・ 特定標的臓器（単回ばく露）	区分2
・ 特定標的臓器（反復ばく露）	区分2
・ 誤えん有害性	分類できない

- ・ 遺伝性疾患のおそれ
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- ・ 肺、呼吸器系への障害のおそれ
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による甲状腺、肝臓の障害のおそれ
- ・ 水生生物に毒性
- ・ 長期継続的影響によって水生生物に毒性

応急措置

- ・ 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸をしやすい姿勢で休息させ、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 飲み込んだ場合、無理して吐かせず、口をすすぎ、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。眼の痛みが続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 皮膚（又は毛髪）に付着した場合、直ちに、すべての汚染された衣類を取り除き、多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激があるときは、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ ばく露又はその懸念がある場合や、気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 漏出したときは、漏出物を回収すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

	化 学 名	含有量 (%)	分子式又は構造式	官報公示番号		CAS No.
				化審法	安衛法	
※	4-ターシャリーブチルフェノール	0 ~ 8	C ₁₀ H ₁₄ O	(3)-503	—	98-54-4
	ベンジルアルコール	0 ~ 20	C ₇ H ₈ O	(3)-1011	—	100-51-6
	変性脂肪族ポリアミン	75 ~ 99	—	非公開	—	非公開
	メタキシリレンジアミン	0 ~ 5	C ₈ H ₁₂ N ₂	(3)-308	—	1477-55-0

※: PRTR法対象成分(対象成分の詳細は、15. 適用法令に示す。)

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 清浄な流水で15分以上洗眼する。充血、痛み等がある場合は速やかに医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹸水・流水で十分に洗浄する。かゆみ、湿疹等がある場合は速やかに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所へ移動する。多量の水でうがいをする。頭痛、吐き気等がひどい場合は直ちに医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄する。意識のない場合は口から何も与えない。無理に吐かせないで直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤を使用して消火する。このとき、水は消化剤として使用してはならない。発生した蒸気や煙を吸入しない。消火作業の際は空気マスクを着用する。移動可能な容器は速やかに安全な場所へ移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス等

6. 漏出時の措置

- こぼれた場所の換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等を着用して作業する。
- 付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。
- 少量の場合は、紙、布、土、砂、おがくず等に吸着させ容器に回収する。
- 多量の場合は、盛土で囲って河川、水路等への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 漏出液を密閉できる容器にできる限り集め、残留液を土、砂、おがくず等不活性吸収剤に吸着させ容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 保護具を用いて皮膚や眼等への接触を避ける。火気を近づけないこと。
- 保管 : 直射日光の当たらない、一定の場所を定めて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度	成 分	管理濃度	許容濃度	
		作業環境評価基準	日本産業衛生学会	ACGIH
	4-ターシャリーブチルフェノール	設定されていない	設定されていない	—
	ベンジルアルコール	設定されていない	25mg/m ³	—
	変性脂肪族ポリアミン	設定されていない	設定されていない	—
	メタキシリレンジアミン	設定されていない	設定されていない	—
設備対策	: 必要に応じ、送風機などを用いて換気する。			
保護具	: 炎、火花、高温体との接触及びその他着火源となる恐れのある機器等の使用を避けること。 : 下記に示す保護具の着用を推奨する。 ・呼吸用保護具 : 有機溶剤用防毒マスク ・保護眼鏡 : ゴーグル型保護眼鏡 ・保護手袋 : 耐油性ゴム手袋、ビニール手袋、軍手 ・保護衣 : 長袖、長ズボンの作業着			

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 淡黄色液体	爆発範囲	: 1.8 ~ 8.6vol%
臭気	: 特徴的な臭気(アミン臭)	蒸気圧	: 情報なし
pH	: 情報なし	蒸気密度	: 情報なし
融点	: 情報なし	蒸発速度	: 情報なし
沸点	: 情報なし	比重	: 1.0/25℃
引火点	: 125℃	溶解性	: 水に不溶、アセトンなどの有機溶剤に可溶。
発火点	: 情報なし	オクタン/水分配係数	: 情報なし
燃焼性	: 情報なし	分解温度	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 冷暗所の保管では安定。
- 危険有害反応可能性 : 塩化水素、イソシアネート類と反応し、発熱する。
- 避けるべき条件 : 直射日光の当たる場所や高温での保管は避ける。
- 混触危険物質 : 酸性物質、塩化水素、イソシアネート類等
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、低分子アミンなどの有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報（人についての症例・免疫的情報を含む）

別紙「有害性情報一覧」参照

12. 環境影響情報

製品として			
生態毒性	: 情報なし	土壤中の移動性	: 情報なし
残留性/分解性	: 情報なし	他の有害影響	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし		

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

輸送時は直射日光が当たらないようにし、容器からの漏れがないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。			
国連分類	: クラス 8	国連番号	: 2 7 3 5
容器等級	: III	国連輸送名	: アミン類（液体、腐食性）、n. o. s
海洋汚染物質	: 環境有害物質に該当する		
陸上輸送			
・消防法			
容器	: 危険物の規制に関する規則 別表第 3 の 2 および第 3 の 4 金属製ドラム (250ℓ)、プラスチックドラム (250ℓ)、金属製容器 (60ℓ) など		
容器表示	: 危険物第 4 類第 3 石油類 (非水溶性、指定数量 2,000ℓ) 危険等級Ⅲ 品名、化学物質名、数量、火気厳禁		
積載方法	: 運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。		
混載禁止	: 第1類および第6類の危険物、高圧ガスの混載禁止。		
・毒劇物取締法	: 該当しない		
・高圧ガス保安法	: 該当しない		
海上輸送			
・船舶安全法	: 腐食性物質 容器等級Ⅲ 容器は (財) 日本船舶用品検定協会の検査を受けた U N マーク表示容器を使用すること。		
航空輸送			
・航空法	: 腐食性物質 容器等級Ⅲ 容器は (財) 日本船舶用品検定協会の検査を受けた U N マーク表示容器を使用すること。		
緊急時応急措置指針番号	: 1 5 3		

15. 適用法令

化審法	: ・ 法第 2 条 (特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質) 該当しない												
労働安全衛生法	: ・ 施行令 別表第 3、特定化学物質障害予防規則第 2 条 該当しない ・ 施行令 別表第 6 の 2、有機溶剤中毒予防規則第 1 条の 1 該当しない ・ 施行令 別表第 1 (危険物) 該当しない ・ 法第 5 7 条、施行令第 1 8 条 別表第 9 (名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政令番号</th><th>成分名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>530の2</td><td>ベンジルアルコール</td></tr> <tr> <td>555</td><td>メタキシリレンジアミン</td></tr> </tbody> </table>	政令番号	成分名	530の2	ベンジルアルコール	555	メタキシリレンジアミン						
政令番号	成分名												
530の2	ベンジルアルコール												
555	メタキシリレンジアミン												
	: ・ 法第 6 5 条の 1、施行令第 2 1 条 (昭和 63 年 9 月 1 日 労働省告示第 75 号 作業環境評価基準別表) 該当しない ・ 法第 5 7 条の 3、労働基準局長通達 (平成 5 年 5 月 17 日 基発第 3 1 2 号の 3 変異原性が認められた化学物質) 該当しない ・ 法第 2 8 条第 3 項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質を定める告示 (がん原性が認められた化学物質) 該当しない ・ 労働基準局長通達 (昭和 51 年 6 月 23 日 基発第 4 7 7 号 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について) 変性脂肪族ポリアミン												
大気汚染防止法	: ・ 法第 2 条の 1 の 3、施行令第 1 条 (ばい煙/有害物質) 該当しない ・ 法第 1 7 条の 1、施行令第 1 0 条 (特定物質) 該当しない ・ 法第 2 条の 1 3 (中央環境審議会第 9 次答申、有害大気汚染物質) 該当しない												
水質汚濁防止法	: ・ 法第 2 条の 2 の 1、施行令第 2 条 該当しない												
悪臭防止法	: ・ 法第 2 条の 1、施行令第 1 条 (特定悪臭物質) 該当しない												
消防法	: ・ 法第 2 条の 7 別表第 1 (危険物) 危険物第 4 類第 3 石油類 (非水溶性、指定数量 2,000ℓ) 危険等級Ⅲ												
毒劇物取締法	: ・ 法第 2 条 別表第 1 ~ 3、施行規則第 4 条の 2 別表第 1 該当しない												
海洋汚染防止法	: ・ 危規則告示別表第 1 備考 1 (4)、備考 2 (8) (環境有害物質) 環境有害物質に該当する												
船舶安全法	: ・ 危規則告示別表第 1 腐食性物質 容器等級Ⅲ												
航空法	: ・ 法第 8 6 条、施行規則第 1 9 4 条 腐食性物質 容器等級Ⅲ												
P R T R 法	: ・ 法第 2 条の 2、施行令第 1 条 別表第 1 (第 1 種指定化学物質)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政令番号</th><th>成分</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>368</td><td>4-タージャリーブニル</td></tr> <tr> <th>季節種別</th><th>フェノール</th></tr> <tr> <td>冬用</td><td>7. 8</td></tr> <tr> <td>春秋用</td><td>3. 7</td></tr> <tr> <td>夏用</td><td>0※</td></tr> </tbody> </table>	政令番号	成分	368	4-タージャリーブニル	季節種別	フェノール	冬用	7. 8	春秋用	3. 7	夏用	0※
政令番号	成分												
368	4-タージャリーブニル												
季節種別	フェノール												
冬用	7. 8												
春秋用	3. 7												
夏用	0※												
	※: 1%未満のため対象外。												

16. その他の情報

主な引用文献	: ・ G H S 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 (社) 日本化学工業協会編 (2019 年 6 月) ・ 各原材料製造会社発行の「安全データシート」
記載事項の問合わせ先	: 株式会社エービーシー商会 化成品事業部 TEL 03-3507-7176

本製品の安全データシートは、当社の製品を安全に使用して頂くための注意事項を簡潔にまとめたものです。
本製品の適正な使用については、使用者の責任において行って下さい。

有害性情報一覧

有害性項目		製品	主要成分									
			4-ターシャリー ブチルフェノール	ベンジアルコール	変性脂肪族 ホリアミン	メタキシリンジアミン						
急性毒性	経口 (LD ₅₀)	区分4	区分外 4,000 mg/kg	区分4 1,600mg/kg	分類できない 情報なし	区分4 660mg/kg						
	経皮 (LD ₅₀)	区分4	区分外 2,318mg/kg	区分4 2,000mg/kg	分類できない 情報なし	区分4 2,000mg/kg						
	吸入：蒸気 (LC ₅₀)	区分4	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし	分類できない 情報なし						
	吸入：ミスト (LC ₅₀)	区分4	区分外 >5.6mg/ℓ	区分外 8.1mg/L	分類できない 情報なし	区分3 0.8mg/ℓ						
皮膚腐食性/刺激性		区分1	区分2	区分外	分類できない	区分1						
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分1	区分1	区分2	分類できない	区分1						
呼吸器感作性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない						
皮膚感作性		区分1	区分1	分類できない	分類できない	区分1						
生殖細胞変異原性		分類できない	区分外	区分外	分類できない	区分外						
発がん性		分類できない	分類できない	区分外	分類できない	分類できない						
生殖毒性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない						
特定標的臓器毒性	単回ばく露	区分2	区分3	区分1,3	分類できない	区分1(肺)						
	反復ばく露	区分2	区分1	区分1	分類できない	分類できない						
誤えん有害性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない						